



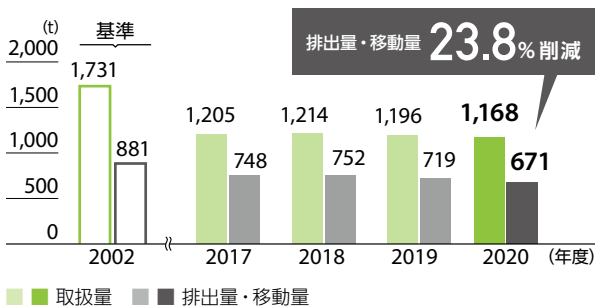
E 化学物質の管理

基本的な考え方 化学物質の適正な管理と排出量の削減により、事業活動に伴う汚染の防止を図っています。人の健康や生態系など環境に影響を及ぼす有害物質の排出については、法令の遵守はもちろんのこと、さらに厳しい自主基準を設けることで管理を徹底しています。

PRTR法対象物質の排出量・移動量の削減

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) に基づく2020年度のPRTR法対象物質の排出量・移動量は、武生工場での排ガス洗浄設備の導入による大気への排出量の削減効果もあり、671t、2002年度比で23.8%削減となり「エコチャレンジ020」の目標を達成しました。

[PRTR対象物質の排出量・移動量の推移]



PCBへの対応

保有していた高濃度PCB廃棄物の処理は2020年度で完了しました。ただし、安定器については未発見の機器が残っている可能性があることから、掘り起こし調査を継続しています。また、製造年などから低濃度のPCBを含有する可能性がある機器については、廃棄前に分析調査を行い、PCB含有の有無に従って適切に処理しています。

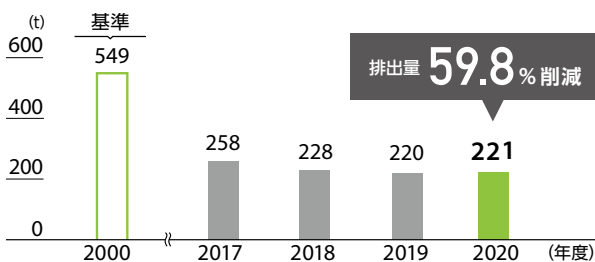
アスベストへの対応

アスベストは保温材や建材などの多くの用途で使用されてきました。使用状況の調査はすでに終了し、飛散性があるものは、除去または封じ込めの措置が完了しています。仕上塗材やスレート屋根などの非飛散性のアスベストについては、解体時に適切に処理を行えるように、使用状況の把握を進めています。

VOC排出量の削減

板紙やフィルムの印刷・加工工程では揮発性有機化合物 (VOC) を含むインキや加工剤を使用しており、乾燥後にVOCが大気中に排出されます。VOC排出量を削減するため、サプライヤーとの協働により低VOC溶剤やノンVOCインキへの転換に取り組んだ結果、2020年度の排出量は221t、2000年度比で59.8%の削減となり「エコチャレンジ020」の目標を達成しました。

[VOC排出量*の推移]



* 対象は日本製紙連合会会員会社の排出上位5物質 (トルエン、メチルエチルケトン、酢酸エチル、イソプロピルアルコール、メタノール) としています

大気汚染・水質汚濁防止への取組み

ボイラの燃焼温度や焼却炉の排ガス処理設備を適切に管理することでNOxやSOx、ばいじんなどの大気汚染物質の排出量を規制値を下回るレベルまで低減しています。排水は加圧浮上、活性汚泥、沈降分離などの浄化処理を行い規制値以下の水質を維持し、河川や下水道に放流しています。厳しい自主基準を設けて定期的な測定を行うことで、管理の徹底を図っています。

詳細な数値はデータ集をご覧ください

土壌汚染防止への取組み

有害物質貯蔵指定施設および有害物質使用特定施設を設置している事業所・工場では、施設や周囲の床面などを定期的に点検・保全することで、漏えいなどによる土壌汚染を防止しています。